

全国660人の既婚者「ケンカ事情」 5人に1人は離婚危機まで発展！？

「夫婦喧嘩と仲直り」に関するアンケート調査報告

ケンカの大半は「翌朝には仲直り」 その秘訣は？

株式会社結婚情報センター

結婚に関する情報を安全に提供し、紹介人数で業界首位のサービスNozze(ノツェ)を運営する株式会社結婚情報センター(本社：東京都中央区八重洲、代表取締役社長：鳩山栄一)は、全国の20代～60代の既婚男女660人(男女比1:1)を対象に、「夫婦喧嘩と仲直り」に関するアンケート調査を実施しました。

結果は、ケンカの頻度や内容、仲直りの秘訣などに色濃い地域差が見られたほか、本年1月に発表された厚生労働省の「人口動態統計2008」では離婚率の減少が明らかになりましたが、実際は夫婦喧嘩が「離婚の危機に発展した」ケースも多く見られるようです。

～ 調査結果概要 ～

■配偶者とケンカする頻度は？

1位：「月1～2回」178人(27%) 原因1位：「年1～2回」167人(25%)
→近畿地方の1位はなんと「数年に一度」(23%)!

■配偶者とのケンカの原因は？

1位：「態度・価値観」162人(27%) 2位：「子供関係」91人(15%)
→以下、3位「家事関係」、4位「生活習慣関係」、5位「家計関係」と続く

■配偶者とケンカしてから仲直りするまでの時間は？

1位：「寝て、起きたら仲直りしている」266人(45%) 2位：「即日」147人(25%)
→「2～3日」から「1週間以上」までの“長期戦”派も30%存在

■仲直りするとき、どちらから歩み寄る？

「夫」381人(64%) / 「妻」213人(36%)
→圧倒的に「夫が折れる」夫婦が多い模様。一方で「妻が折れる」亭主関白な地域も…

■ケンカから離婚の危機に発展したことは？

「ある」122人(19%) / 「ない」538人(81%)
→ 北海道・九州地方は13%に留まった「ある」が、東海地方では52%と超高率に!

【調査対象】全国の20代～60代・既婚男女660人(男女比1:1)

【調査方法】2008年12月1日(月)～5日(金)、民間のインターネットリサーチにて調査

----- 本件に関するお問い合わせ -----

株式会社結婚情報センター 広報担当：三谷 健

TEL：03-3517-7559 FAX：03-3510-9423 E-Mail：mitani@nozze.com

※本調査を報道いただける際は、ご一報の上「Nozze調べ」として頂ければ幸いです。

※本調査の詳細データをご希望の方は、上記までご連絡いただければご提供差し上げます。

— アンケート調査結果 サマリー —

「夫婦喧嘩は犬も食わない」—そんなことわざもある中、有名タレントの離婚劇が世間を賑せた 2008 年。今年 1 月 1 日に厚生労働省が発表した「人口動態統計 2008」では、婚姻件数は増加（11000 件増）し、離婚件数は低下（4000 件減）したという結果が見られましたが、実際の夫婦事情はどうなのでしょう。結婚情報センターでは「夫婦喧嘩と仲直り」をテーマにした調査を実施しました。

まずは「配偶者とケンカする頻度」を尋ねたところ、「月 1～2 回」が 178 人（27%）で 1 位。2 位は「年 1～2 回」167 人（25%）。となりましたが、近畿地方では「数年に一度」が 23%でトップ、甲信越地方は「週 1～2 回」が 23%でトップになっており、地域差が見られる結果となりました。また、「配偶者とケンカする内容」について尋ねたところ、1 位「態度・価値観」162 人（27%）、2 位「子供関係」が 91 人（15%）、3 位「家事関係」80 人（14%）という結果に。こちらの質問では、北海道・沖縄にて「家計関係」が、東北・関東・東海地方で「生活習慣関係」が、中国地方で「親・親類関係」がランクインしています。

次に、「ケンカから仲直りまでの平均時間」を尋ねたところ、44%にあたる 266 人が「寝て、起きたら仲直りする（している）」と回答。ただし、「2～3 日」「1 週間程度」「1 週間以上」といった「長期戦」派も 30%弱いるようです。こちらの質問では北陸地方の 1 位「ケンカしたらすぐに仲直りする」35%が目立っていました。

また、「仲直りするとき、どちらから歩み寄ることが多いか」を尋ねたところ、「夫」381 人（64%）に対し「妻」213 人（36%）という結果に。ところが北陸・中国・四国・九州地方では、いずれも「妻」が 42%～44%と健闘し、「夫を立てる妻」の多さが伺えます。さらに、「自由回答で「仲直りの秘訣」を尋ねたところ、「夫の我慢」「旦那のしつけ」「とりあえず夫に謝ってもらう」「結局男の方から謝れば解消」などの回答も。ただし、他にも「初心に帰る」「いってらっしゃいのキス」「メールで謝る」「子供の話をする」「とことん話し合う」「率先して家事を手伝う」「私も悪かった、という謙虚な気持ちを忘れない」など、夫婦円満の知恵がたくさん寄せられました。

最後に、「離婚の危機に瀕したことがありますか？」と質問したところ、「はい」は 122 人（19%）という結果に。地域別では、東海地方の「はい」が 52%とかなり目立っており、北海道・北陸・九州地方の「いいえ」は 87%と円満ぶりを示しました。なお、厚生労働省調べによる都道府県別の実際の離婚率では、沖縄、北海道、大阪が高く、新潟、島根、富山といった日本海側が低いという傾向が見られるため、北海道は「危機に瀕する夫婦は少ないが離婚が多い」富山は「危機に瀕する夫婦も実際の離婚も少ない」という実態が伺えます。

ケンカの頻度、内容、深刻さなど、各夫婦や地域によっても様々ですが、各家庭で日常的に駆使されている「仲直りの秘訣」こそ、離婚件数を 6 年連続で減少させている要因のひとつであることは間違いなさそうです。

— アンケート調査結果 詳細 —

【調査対象】20 代～60 代の既婚男女 660 人(男女比 1:1)

【調査期間】2008 年 12 月 1 日(月)～5 日(金)

【調査方法】民間のインターネットリサーチにて調査

Q1:配偶者とケンカする頻度を教えてください。

	％	総計
毎日	2.3	15
週 1～2 回	16.2	107
月 1～2 回	27.0	178
年 1～2 回	25.3	167
数年に一度	19.2	127
しない(Q2 以降除外)	10.0	66

100.0 660

Q2:配偶者とケンカする頻度が最も高い話題を教えてください。

	％	総計
子供関係(学校・教育方針など)	15.3	91
親・親類関係(同居・介護・相続・法事など)	8.4	50
生活習慣関係(飲酒・食事など)	10.9	65
仕事関係(残業・共働きなど)	3.2	19
自宅関係(新築・内装・転居など)	0.3	2
車関係(購入・買い替えなど)	0.5	3
食事関係(分担・味付けなど)	1.7	10
家事関係(掃除洗濯・整理整頓など)	13.5	80
家計関係(給料・使途・お小遣いなど)	10.4	62
異性関係(浮気など)	1.0	6
休日・余暇関係(過ごし方・旅行など)	5.7	34
態度・価値観	27.3	162
その他	1.7	10

100.0 594

Q3:配偶者とのケンカから仲直りまでの平均時間を教えてください。

	％	総計
ケンカしたらすぐ仲直りする	24.7	147
寝て、起きたら仲直りする(している)	44.8	266
2～3日は必要	22.7	135
仲直りまで1週間程度かかる	5.1	30
1週間以上かかる	2.7	16
	100.0	594

Q4:仲直りするとき、どちらから歩み寄ることが多いですか。

	％	総計
夫	64.1	381
妻	35.9	213
	100.0	594

Q5:夫婦の仲直りの秘訣を教えてください。

初心に帰る(北海道・40代男性)	
仲直りは布団の中で(東北地方・40代男性)	
相手の立場になって考える(北陸・60代男性)	
子供が「けんかしちゃダメ」と止めてくれる(中国地方・30代女性)	
いってらっしゃいのキス(九州地方・30代女性)	
	ほか多数

Q6:離婚の危機に瀕したことがありますか。

	％	総計
はい	18.5	122
いいえ	81.5	538
	100.0	660

— アンケート調査結果 地域別特徴 —

全国平均

・ケンカは月1～2回、離婚危機は5人に1人
・「価値観」「子供関係」「家事関係」のケンカが多い
・翌朝には仲直り、夫から折れることが多い

北海道の特徴

・「ケンカの頻度」が低い
・「離婚の危機」が低い
・ケンカの原因2位に「家計・金銭トラブル」がランクイン

東北地方の特徴

・「ケンカの頻度」が低い
・ケンカの原因3位に「飲酒・食事など生活習慣」がランクイン

関東地方の特徴

・すべての項目で全国平均値に近い
・ケンカの原因3位に「飲酒・食事など生活習慣」がランクイン

甲信越地方の特徴

・「ケンカの頻度」が高い
・仲直りの際に「夫から歩み寄る」割合が高い

北陸地方の特徴

・「ケンカしたらすぐ仲直りする」割合がかなり高い
・仲直りの際に「妻から歩み寄る」割合がかなり高い
・「離婚の危機」が低い

東海地方の特徴

・仲直りの際に「夫から歩み寄る」割合が高い
・離婚の危機がかなり高い
・ケンカの原因3位に「飲酒・食事など生活習慣」がランクイン

近畿地方の特徴

・「ケンカの頻度」がかなり低い
・ケンカの原因が幅広い

中国地方の特徴

・ケンカの原因に「親・親類」「家計」がランクイン
・仲直りの際に「妻から歩み寄る」割合がかなり高い

四国地方の特徴

・「ケンカの頻度」がかなり低い
・仲直りの際に「妻から歩み寄る」割合がかなり高い

九州地方の特徴

・仲直りの際に「妻から歩み寄る」割合がかなり高い
・「離婚の危機」が低い

沖縄県の特徴

・ケンカの原因2位に「家計・金銭トラブル」がランクイン
・「離婚の危機」が高い